



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月13日

上場会社名 株式会社中央製作所
コード番号 6846 URL <http://www.chuo-seisakusho.co.jp/>

上場取引所 名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 後藤 邦之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長兼研究開発部長 (氏名) 柘植 良男

TEL 052-821-6166

四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	3,146	8.5	20		1		2	
29年3月期第3四半期	2,898	9.2	47		10		12	

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 49百万円 (108.7%) 29年3月期第3四半期 23百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	3.38	
29年3月期第3四半期	15.71	

平成28年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、1株当たり四半期純利益は、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	5,068	2,070	40.8
29年3月期	4,656	2,052	44.1

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 2,070百万円 29年3月期 2,052百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		40.00	40.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

29年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 25円00銭 創立80周年記念配当 15円00銭

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,000	8.5	180	480.6	200	177.8	140	37.3	180.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	784,300 株	29年3月期	784,300 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	10,265 株	29年3月期	9,770 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	774,338 株	29年3月期3Q	775,155 株

平成28年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、29年3月期3Q期中平均株式数(四半期累計)を算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
3. その他	8
(1) 生産実績	8
(2) 受注実績	8
(3) 販売実績	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、米国経済、欧州経済及び中国経済など世界経済の好調さに加え、内外での設備投資の持ち直しや東京五輪やリニア関連の建設需要が引き続き堅調な状況を背景に企業収益が改善するなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。

しかし、北朝鮮情勢の緊迫化などの地政学的リスクの高まり、欧米の政治動向の不安や中国の景気失速懸念などに加えて、金融・為替市場の混乱による世界経済の減速懸念もささやかれるなど、外的な要因による日本経済の減速懸念もぬぐいきれない状況も続いております。

こうした経済情勢の中で、当社グループは国内需要にとどまらず海外での需要に積極的に応える製品開発に注力しました。一方、老朽化した設備の更新需要や人手不足を補う自動化及び生産性向上に向けた需要に対して積極的な営業展開をまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の受注高は3,872百万円（前年同期比6.6%増）、売上高は3,146百万円（前年同期比8.5%増）となりました。しかし、損益については、営業損失20百万円（前年同期は営業損失47百万円）、経常損失1百万円（前年同期は経常損失10百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失2百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失12百万円）となりました。

今後につきましても、輸出の増加基調が維持され、設備投資の持ち直しの動きが続く見通しの中で、実績に裏打ちされた積極的な提案営業により受注・売上の確保に努めてまいります。

以下主なセグメントの業績についてご説明申し上げます。

（電源機器）

電源機器につきましては、二次電池、アルミ建材などの業界を中心に様々な仕様にお応えするとともに納期の短縮に努め、受注の確保に取り組んでまいりました。また、汎用電源では、通信機能搭載により多台数の注文にもお応えできるよう取り組んでまいりました。その結果、受注高は1,364百万円（前年同期比31.6%増）、売上高は985百万円（前年同期比0.7%増）といずれも増加いたしました。

今後につきましては、更なる高効率化を目指した新型電源の開発、及びオープンフィールドネットワーク対応も含めた技術開発に取り組む、多様な市場のニーズに応えるべく、電源機器のシェア拡大を目指してまいります。

（表面処理装置）

表面処理装置につきましては、新規顧客の掘り起こしと稼働中の装置の改造、修理、点検の案件に対する積極的な対応により、受注・売上の拡大を図りました。その結果、受注高は1,292百万円（前年同期比3.8%増）、売上高は987百万円（前年同期比40.1%増）といずれも増加いたしました。

今後も装置の機能や機構を見直し、更に「メンテナンスし易い装置」「生産効率の良い装置」「省エネルギーな装置」を実現し、新規・更新需要の掘り起こしをするとともに、IoT技術を活用した予防保全のシステムであるCCCS-M（中央コンピュータコントロールシステム—メンテナンス）の提案を積極的に進め、受注・売上の確保に努めてまいります。

（電気溶接機）

電気溶接機につきましては、国内において、自動車関連業界及び建設資材業界、鋼製家具業界などの内需型産業を中心に新規及び更新需要に対して積極的に取り組んでまいりました。一方、海外においては、海外代理店との連携を密にして電子部品業界を中心に、汎用製品の積極的な拡販に努めてまいりました。

しかしながら、受注高は607百万円（前年同期比18.6%減）、売上高は662百万円（前年同期比17.0%減）といずれも減少いたしました。

今後につきましては、精密溶接分野で市場から求められる新商品の投入に注力し、国内外を問わず市場の開拓に努めてまいります。

（環境機器）

環境機器につきましては、環境保全の国際的な取り組みが加速する中、受注・売上の拡大を目指してまいりましたが、受注高は215百万円（前年同期比7.8%減）、売上高は191百万円（前年同期比1.7%増）となりました。

今後につきましては、液管理装置や液リサイクル装置であるエチクリーンやペーパーコン（いずれも当社製品）など環境保全に役立つ製品の拡販に努めてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて7.9%増加し4,036百万円となりました。これは、主として受取手形及び売掛金が363百万円減少したものの、仕掛品が354百万円、現金及び預金が170百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて12.8%増加し1,032百万円となりました。これは、主として投資その他の資産のうち投資有価証券が88百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて8.8%増加し5,068百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて20.6%増加し2,448百万円となりました。これは、主として支払手形及び買掛金が287百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて4.3%減少し550百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて15.1%増加し2,998百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.9%増加し2,070百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、概ね平成29年11月14日に公表いたしました予想の範囲内であるため、業績予想の変更はありません。

記載の業績予想数値につきましては、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因により業績予想とは異なる可能性があります。実際の業績に与え得る重要な要因には、当社グループの事業を取り巻く経済環境、市場動向等が考えられます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,336,298	1,507,164
受取手形及び売掛金	1,405,144	1,041,585
電子記録債権	211,694	310,336
商品及び製品	72,835	59,103
仕掛品	591,233	945,531
原材料及び貯蔵品	99,692	127,385
その他	25,951	45,992
貸倒引当金	△700	△650
流動資産合計	3,742,151	4,036,448
固定資産		
有形固定資産	293,055	281,729
無形固定資産	9,579	6,549
投資その他の資産		
投資有価証券	433,610	522,079
その他	182,010	225,104
貸倒引当金	△3,462	△3,338
投資その他の資産合計	612,158	743,845
固定資産合計	914,793	1,032,124
資産合計	4,656,944	5,068,572
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,022,570	1,310,388
短期借入金	740,000	740,000
未払法人税等	8,344	8,722
その他	258,807	389,328
流動負債合計	2,029,722	2,448,439
固定負債		
役員退職慰労引当金	101,300	113,050
退職給付に係る負債	418,224	359,166
その他	55,184	77,868
固定負債合計	574,709	550,084
負債合計	2,604,431	2,998,524
純資産の部		
株主資本		
資本金	503,000	503,000
資本剰余金	225,585	225,585
利益剰余金	1,157,296	1,123,699
自己株式	△14,465	△15,303
株主資本合計	1,871,416	1,836,981
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	173,389	225,153
為替換算調整勘定	7,707	7,914
その他の包括利益累計額合計	181,097	233,067
純資産合計	2,052,513	2,070,048
負債純資産合計	4,656,944	5,068,572

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	2,898,983	3,146,139
売上原価	2,227,088	2,378,460
売上総利益	671,894	767,678
販売費及び一般管理費	719,539	788,339
営業損失(△)	△47,645	△20,660
営業外収益		
受取利息	223	445
受取配当金	7,437	6,884
持分法による投資利益	9,958	13,836
役員退職慰労引当金戻入額	22,030	-
その他	4,065	3,089
営業外収益合計	43,714	24,256
営業外費用		
支払利息	4,598	4,181
為替差損	1,621	101
その他	370	380
営業外費用合計	6,590	4,663
経常損失(△)	△10,520	△1,067
特別利益		
固定資産売却益	-	9
特別利益合計	-	9
特別損失		
固定資産処分損	43	164
特別損失合計	43	164
税金等調整前四半期純損失(△)	△10,564	△1,221
法人税、住民税及び事業税	1,615	1,393
法人税等合計	1,615	1,393
四半期純損失(△)	△12,179	△2,615
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△12,179	△2,615

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純損失(△)	△12,179	△2,615
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	39,590	51,763
為替換算調整勘定	△3,761	206
その他の包括利益合計	35,828	51,970
四半期包括利益	23,648	49,354
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	23,648	49,354
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. その他

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第3四半期連結累計年度における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高 (千円)	前年同期比 (%)
電源機器	1,293,228	28.3
表面処理装置	1,136,538	15.5
電気溶接機	602,081	△20.6
環境機器	221,070	3.1
その他	376,677	26.5
合計	3,629,594	11.3

- (注) 1 金額は、販売価格によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第3四半期連結累計年度における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (千円)	前年同期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同期比 (%)
電源機器	1,364,719	31.6	801,715	115.2
表面処理装置	1,292,126	3.8	947,419	△16.5
電気溶接機	607,095	△18.6	153,347	△38.2
環境機器	215,374	△7.8	62,359	△14.5
その他	393,235	6.1	136,327	△18.9
合計	3,872,551	6.6	2,101,169	5.2

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第3四半期連結累計年度における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高 (千円)	前年同期比 (%)
電源機器	985,738	0.7
表面処理装置	987,641	40.1
電気溶接機	662,061	△17.0
環境機器	191,524	1.7
その他	319,173	39.5
合計	3,146,139	8.5

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。